

大舞台での活躍誓う

光星ナイン 知事を訪問

第101回全国高校野球選手権大会(8月6日開幕)で6試合中3試合にコールド勝ちするなど圧倒的な力で2連覇を飾り、3季連続の甲子園出場を決めた。この日は青森大会のベンチ入りメンバー20人と、仲井宗基監督らが訪問した。八学光星はノシードで

仲井監督は「県代表の誇りを持って頑張ってくる」と「厳しい戦いが続くと思う

が、持ち味の粘り強い野球で、自分たちの実力を十分に発揮したい」と抱負を語った。これに対し、三村知事は「思いっきり打ち、走り、投げて、納得のいくプレーをしてほしい。深紅の大優勝旗を待っている」と激励した。

(里村静)

光星は来月1日

甲子園練習日本高野連は20日、第101回全国高校野球選手権大会(8月6日から16日)の間、甲子園に出場する代表校の甲子園練習の日程を発表した。初日の8月1日は午前8時に始まり、八学光星や今春の選抜大会4強の明石商(兵庫)、初出場の飯山(長野)など11校が汗を流す。練習時間は各校20分ずつ。2、3日の日程は決まり次第、発表される。練習順は次の通り。▽8月1日 花巻東(宮手) 八学光星、北照(南北海道) 旭川大高(北海道) 秋田中央、沖繩尚学、飯山、

山梨学院、日本文理(新潟) 明石商、雁江社(大阪)



甲子園出場を果たした八学光星野球部の選手ら
11月29日、青森県庁